

# 【別紙】書面表決結果一覧

No.	議題2	その他ご意見
1	承認	・問3と問9が大切な質問であり、この回答により自治基本条例が動き出すきっかけとなればいいと考える。
2	承認	・特になし。
3	承認	・今年は、「コロナ禍にある協働」をテーマに、深堀してみたいと考えている。
4	承認	・議題1について、「推進委員会の立ち位置の明確化による、諮問機関としての役割の確立や実施機関との分離についての検討が必要」はその通りであると感じた。 ・議題2について、市民は自らまちづくりのために取り組んでみたいテーマなどを考えて生活していないだろうし、それは市役所の仕事であると考えているのではないかと感じた。また、設問をもっと具体例をあげたものにしないと答えにくいと感じた。
5	承認	・市民意識アンケートについて、委員の皆様のご意見が組み込まれ、とてもわかりやすい内容のアンケートだと感じた。
6	承認	・議題2につきましては、「問3」「問4」につきまして、「とくに活動はしていない」旨の選択肢、「問5」につきまして、「とくに無い」旨の選択肢を付加する方が望ましいと思料する。このような選択肢がないと、地域活動等に参加している(参加すべきである)のは当然であるとのニュアンスを感じる。 ・今後の進行について、答申の提出期限までに、議論できるのは実質的に4回程度であり、時間的余裕はないことから、アンケート問題に時間を割くよりも、当委員会の「在り方」や「協働によるまちづくりを進めていくための手法」について議論する方がプライオリティは高いと思料する。議論すべき事項について、速やかに、かつ効率的に(いつまでに、何を決定するのかスケジュールを立てる等)議論を進める必要があると感じた。なお、「在り方」についても、2年間もかけて単に「諮問機関である」or「実施機関である」というだけでは、不十分であるため、答申には、決定した「在り方」を前提に、「では当委員会として何ができるのか(何をするのか)」まで言及すべきと思料する。
7	承認	・アンケートを実施することによって、自治基本条例の主旨、考え方の理解や認識といった点でさらに広がっていくのではないかと考えます。
8	承認	・「持続可能なまちづくり」「誇りを持てるまちづくり」「活力あるまちづくり」を目指して、委員会や市は献身している。
9	承認	・過去に実施されたアンケートより、一步踏み込んだ質問が入っていて良いと感じた。また、やる気のある人を取り込むことから希望者に向けて情報など配信するのは有効だと考えます。 ・自分としては、問7が答えづらいと感じた。町会に加入しており、ボランティア活動も行っているが、「自治基本条例の理念を基に～」と問われると、自信を持って「1.している」と回答できないと感じた。
10	承認	・アンケートの結果が楽しみである。
11	承認	・アンケートは今後の検討の素材になるため、結果が楽しみである。
12	承認	・市民意識アンケート内容は、平成27年度の市民意識アンケートとの比較・分析し、委員会で審議・検討が必要だと考える。 ・令和3年11月の答申に向け、どの様に具体的に審議スケジュールを進めていくのか検討が必要と考える。
13	承認	・町会活動は、新たな人材の発掘が必要であり、子どもが参加しやすいイベントを実施することにより、保護者を巻き込む機会となる。このような方法で地域の活性化につながればと考えている。
14	承認	・団体の方には、今まで活動されて(コロナ禍以前で)、気付いた点や感想等、良かったこと、楽しかったこと等を自由記述で回答してもらいたい。市長や副市長がおっしゃっていた、「楽しむこと」が、長く続けていけるし、生き甲斐にもなり、日々の生活や地域活動において大切なことの一つだと考える。